

特42

823

繪本楠公一代紀

全



No 5634

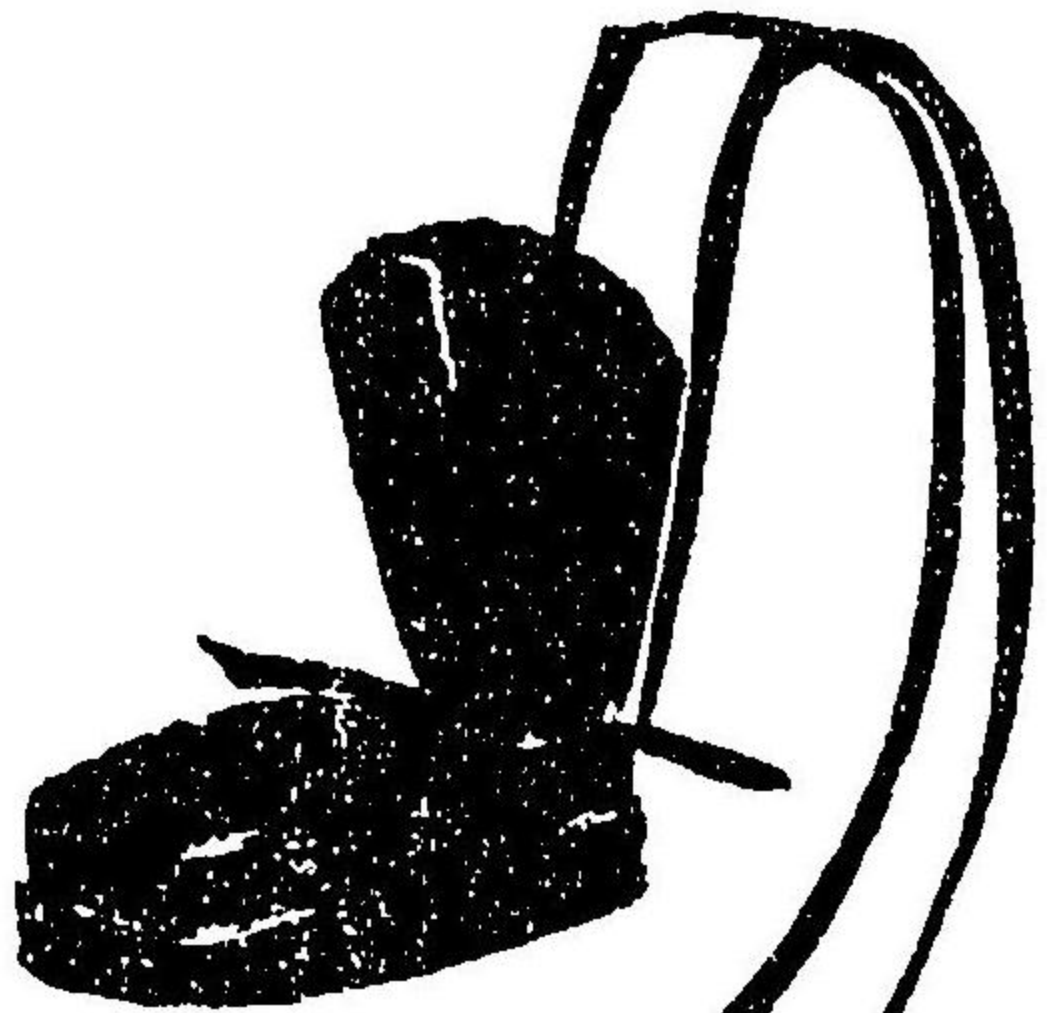
123



莽九州榛棘
 裏一株南木護孤宸

小

祝
記



吉
 賀
 加
 國
 版

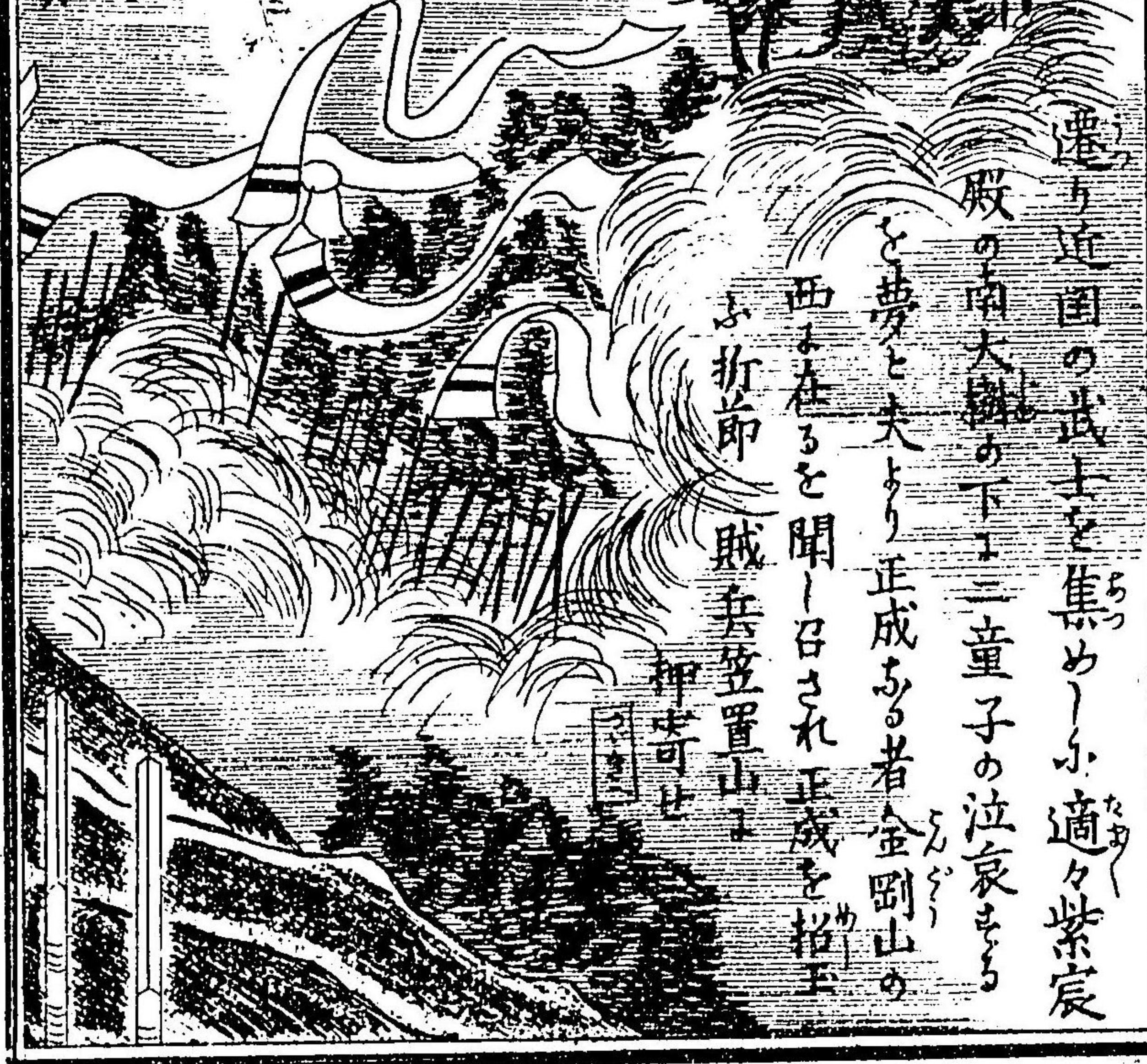








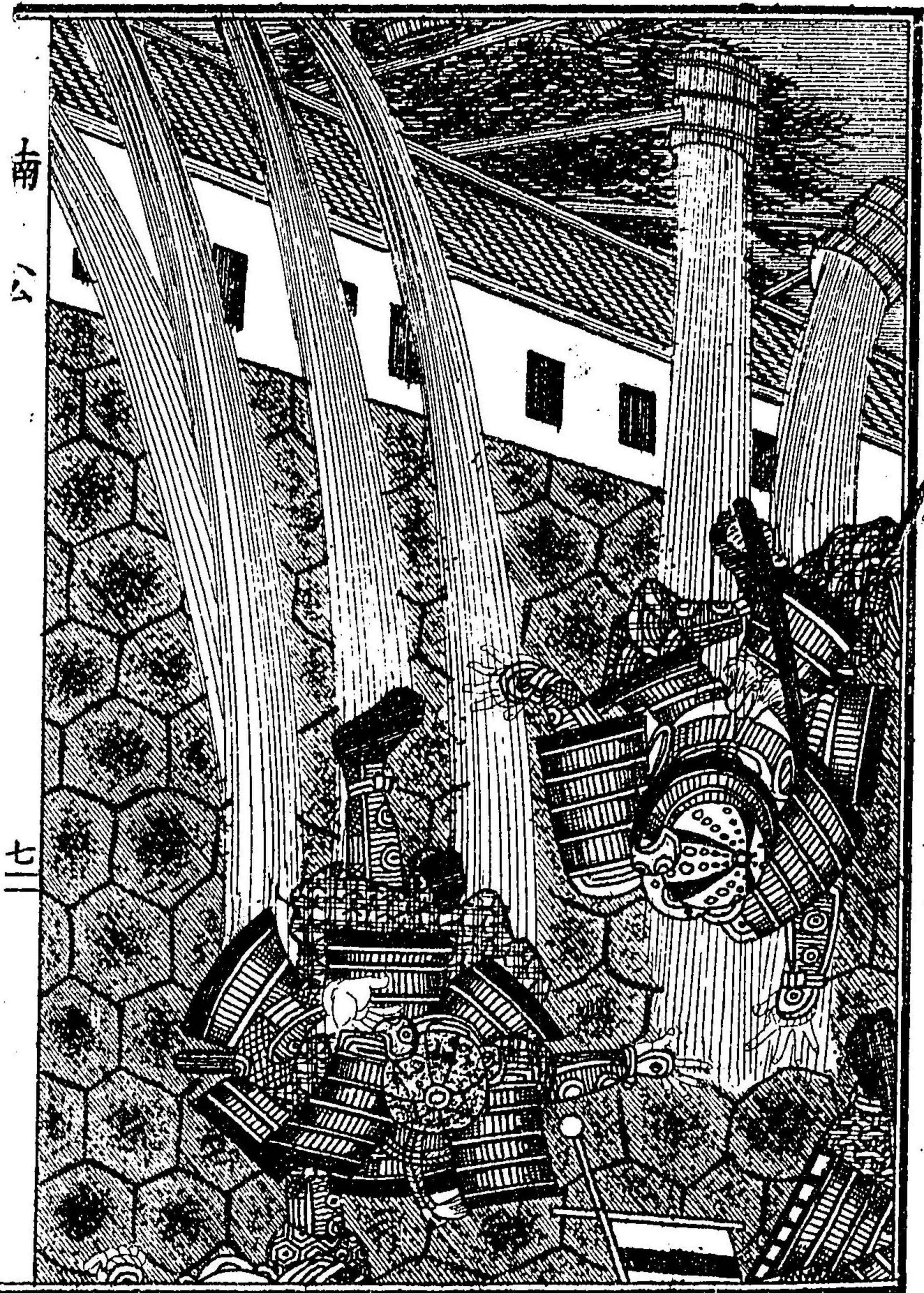
娘めり十四ヶ月
 多門丸の申子ありと
 多門丸と号し八才の春
 捨尾山観心寺小登り
 学文武藝を字び又大江
 時親は兵法の奥義を極め
 服して多門兵正尉正成
 名無る正成卒去の後
 正成世を嗣當時北條
 高時政を掌握し驕奢し
 西氏奇政は苦しむ



遷り近国の武士を集めし適々紫宸
 殿の南大櫓の下に童子の泣哀き
 と夢と夫より正成ある者金剛山の
 西に在るを聞し召され正成を招玉
 ふ折節 賊兵笠置山
 押寄



天皇 震怒し玉ひ高
 時を 滅せんと謀り
 及て高時都
 けり後醍醐
 帝ハ城州
 笠置山



南
公

廿一



木
公

笠置終に陥たり帝万里小路

藤房卿と神罟を奉り赤坂

至り玉ふに賊兵追撃す

正成八弟正季等と兵を合け

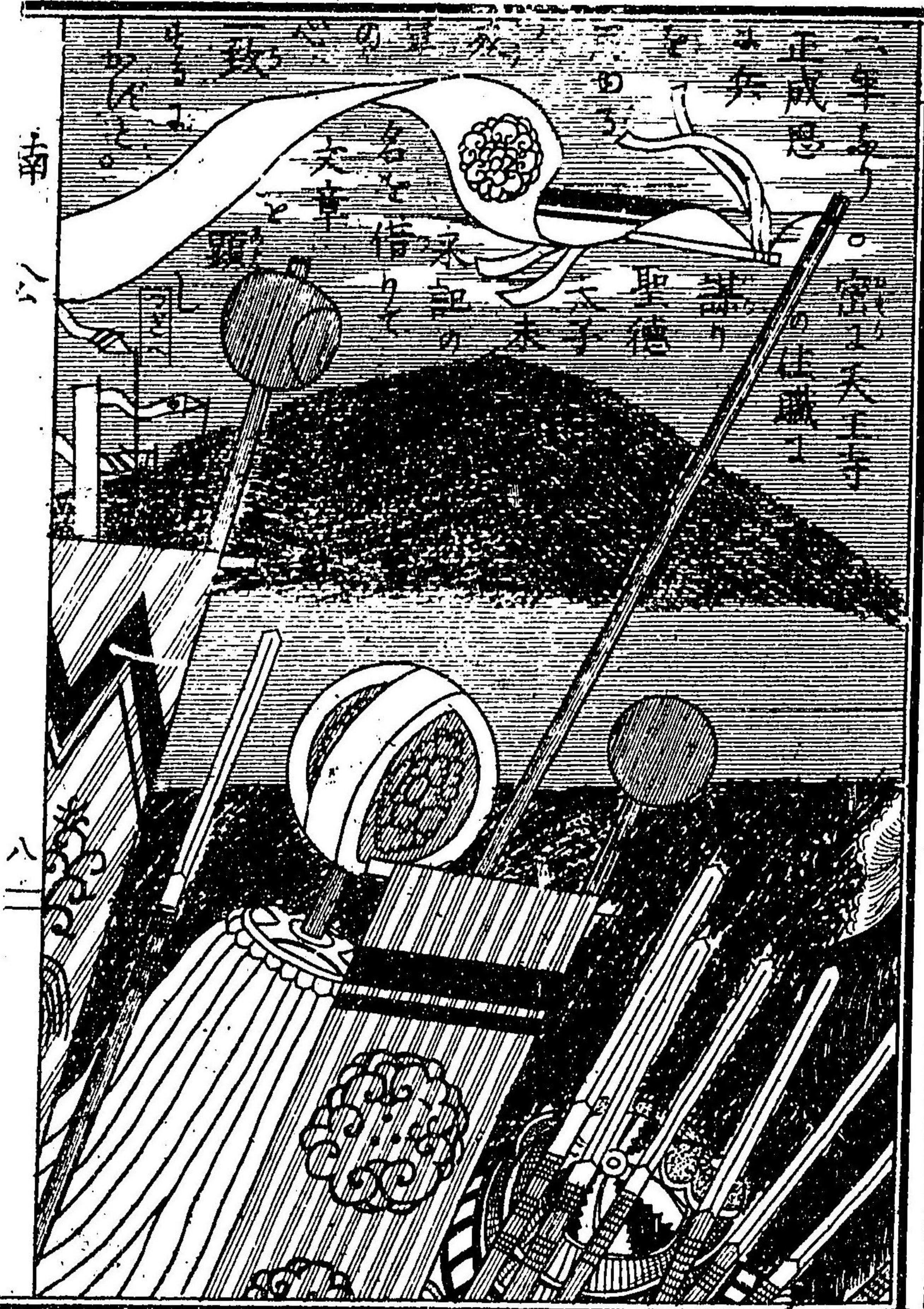
奇計を以て散々東軍

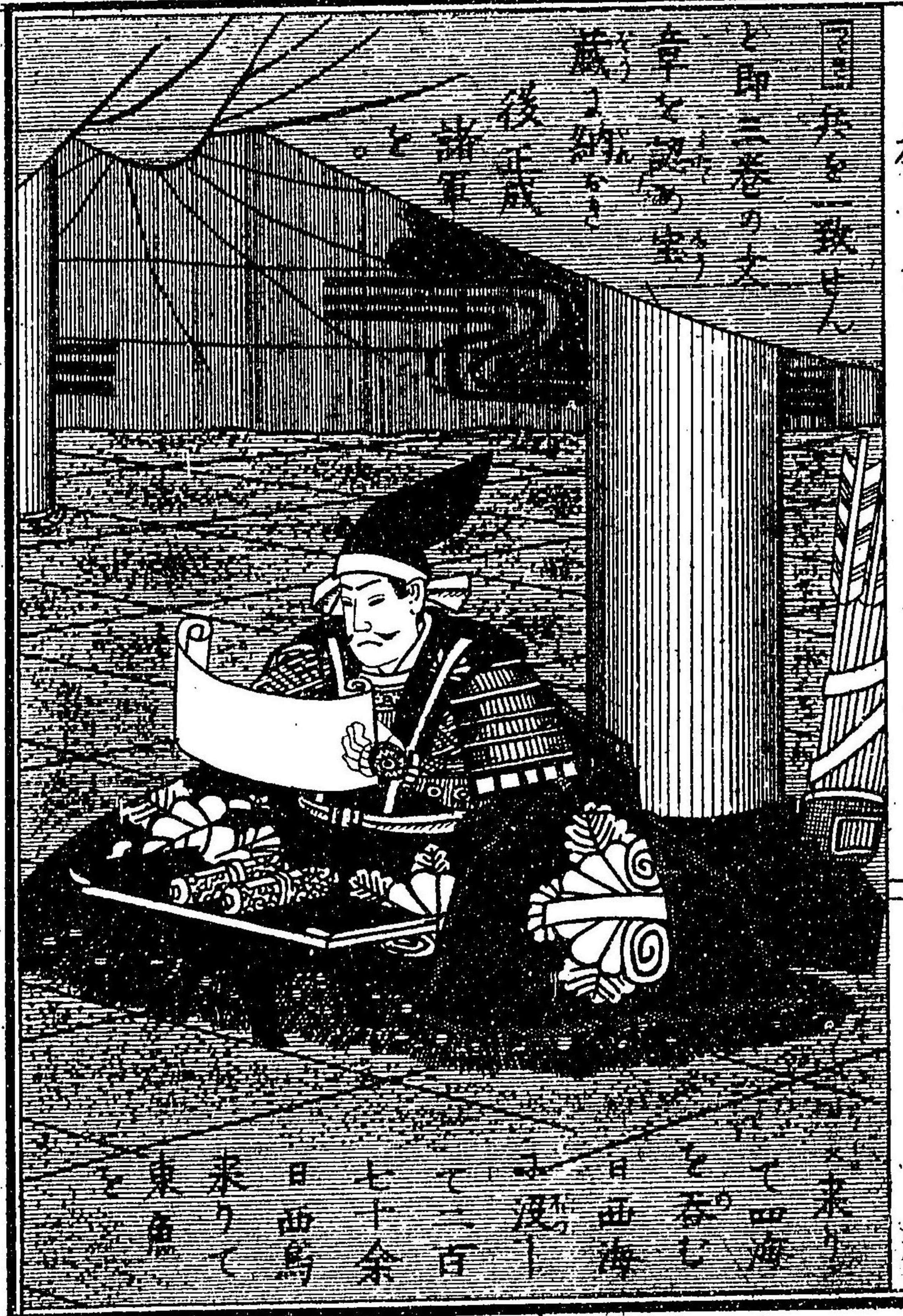
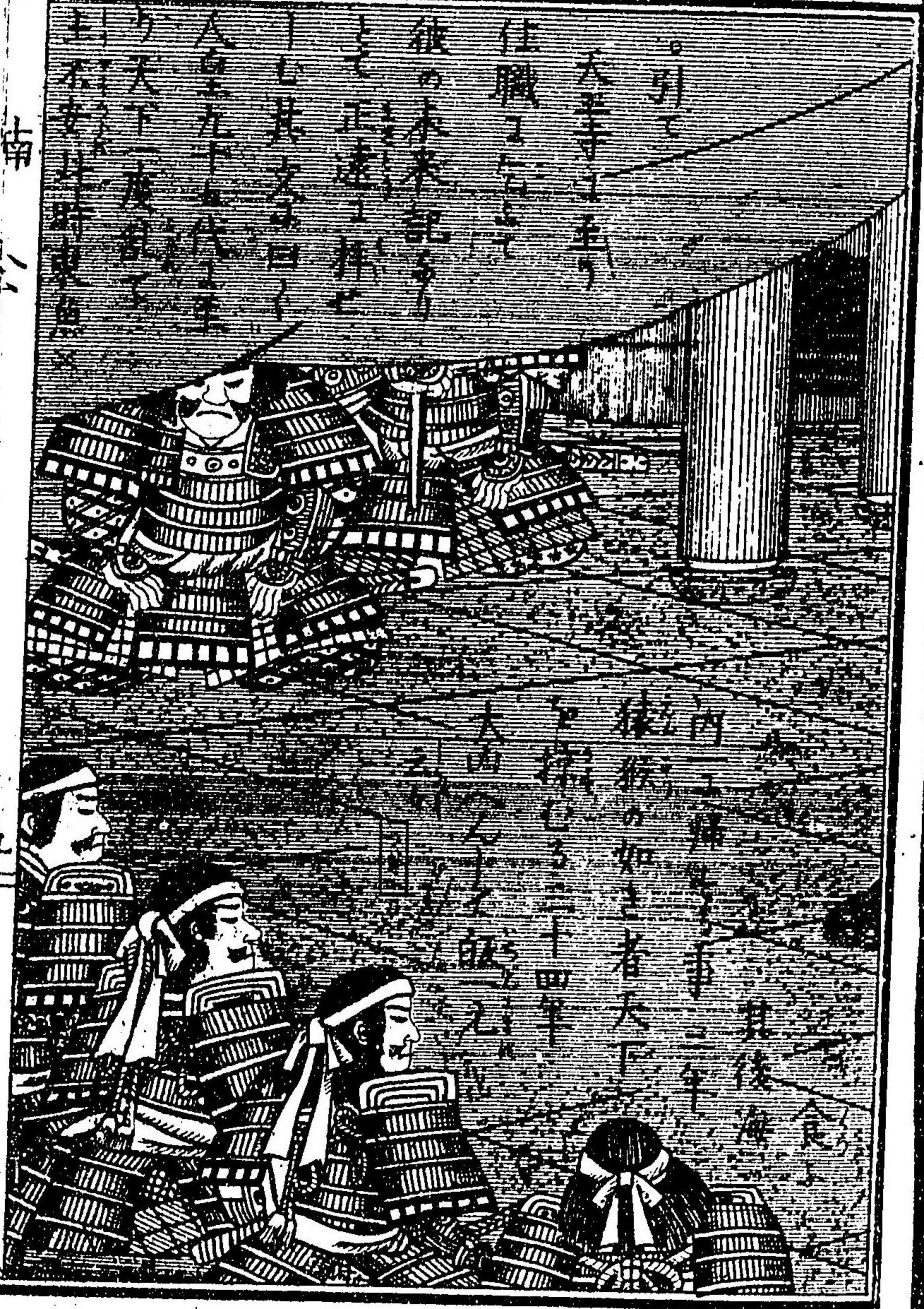
と悩す上軍も賊兵大軍

故軍成討たれり

金剛山

ふりたり











破り西よ走

せける是

於て正成

義貞を

かくま

南

十二



折

阿蘇の捕の伏兵一時小発

足利の大軍惣崩と云りて散

り敗走り後尊氏都下乱入

山崎の砦破れりと聞正

成皇居に至り早々山門へ

行幸ある一風轡

召さば前後に成ひ急

玉ふ道小新中義貞一万騎

を以て馳來り君を守護

て東坂本へ急 玉ふ將

正成八屢々尊氏



明治廿三年九月十五日印刷
 日本橋區吉川町五番地
 發行所 堤吉兵衛

新編西國奇談

廿編より
 追々出版

薄緑娘志すなみ

八編より
 追々出版

娘庭訓黄金の鶏

追々出版

御届

神田區仲町二丁目六番地

明治 年 月 日

編輯人 篠田久次郎

地本錦繪問屋

日本橋區吉川町

出版人 堤吉兵衛

